



川崎 一 朗 名 誉 教 授

川 崎 一 朗 教 授 略 歴

(学歴・職歴)

昭和	21年	12月	17日	大阪市城東区に生まれる
	40年	3月		私立灘高校卒業
	40年	4月		東京大学 教養学部入学
	45年	3月		東京大学 理学部 地球物理学科卒業
	48年	3月		東京大学 理学研究科 地球物理学専攻 修士課程修了
	51年	3月		東京大学 理学研究科 地球物理学専攻 博士課程修了学位取得
	53年	4月		富山大学 理学部 地球科学科 助教授
	54年	8月		マサチューセッツ工科大学 地球惑星科学学部 客員研究員 (昭和55年8月まで)
	59年	9月		コロラド大学 環境科学共同研究所 客員研究員 (昭和60年8月まで)
平成	5年	4月		富山大学 理学部 地球科学科 教授
	14年	2月		京都大学 防災研究所 地震予知研究センター 教授
	15年	6月		京都大学学術出版会理事 (平成22年3月まで)
	17年	4月		防災研究所副所長 (平成19年3月まで)
	19年	4月		防災研究所附属地震予知研究センター長 (平成21年3月まで)

(学会・委員会・学術振興活動等歴)

昭和	61年	4月		日本地震学会評議員 (昭和63年3月まで)
平成	元年	4月		日本地震学会評議員 (平成3年3月まで)
	元年	4月		日本地震学会幹事 (平成2年3月まで)
	元年	4月		日本地震学会「地震」編集委員長 (平成2年3月まで)
	2年	4月		日本地震学会「地震」編集委員 (平成3年3月まで)
	2年	4月		Journal of Physics of the Earth 編集委員 (平成11年3月まで)
	4年	4月		日本地震学会評議員 (平成6年3月まで)
	7年	4月		日本地震学会評議員 (平成9年3月まで)
	8年	4月		日本地震学会海外渡航助成金審査委員会委員 (平成11年3月まで)
	10年	4月		日本地震学会評議員 (平成12年3月まで)
	10年	4月		国土地理院研究評価委員会委員 (平成12年3月まで)
	12年	4月		日本学術振興会科学研究費委員会 (平成14年03月まで)
	12年	10月		日本地震学会代議員
	13年	4月		日本測地学会評議員 (平成15年3月まで)
	14年	4月		東京大学地震研究所地震予知研究協議会計画推進部会委員 (平成16年3月まで)
	14年	4月		地震予知総合研究振興会東濃地震科学研究所地殻活動研究委員会(平成18年3月まで)
	14年	5月		海洋科学技術センターリアルタイム地殻変動観測システム計画検討委員会委員(平成16年3月まで)
	14年	8月		日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員 (平成16年7月まで)

平成 16 年 4 月	日本地震学会理事地震予知検討委員会委員長 (平成20年3月まで)
16 年 10 月	日本測地学会代議員(平成18年3月まで)
16 年 10 月	海洋研究開発機構リアルタイム地殻変動観測システム計画検討委員会委員(平成18年3月まで)
17 年 4 月	京都大学学術出版会常任理事(平成22年3月まで)
17 年 10 月	日本地震学会若手学術奨励賞選考委員(平成19年9月)
19 年 4 月	国土地理院地震予知連絡会委員 (平成21年3月まで)
19 年 4 月	東京大学地震研究所地震・火山噴火予知研究協議会委員 (平成21年3月まで)
19 年 4 月	東濃地震科学研究所深地層研究施設整備促進補助事業中間評価検討会委員 (平成20年3月まで)
19 年 10 月	日本測地学会代議員(平成21年3月まで)
21 年 10 月	兵庫県防災会議地震災害対策計画専門委員

川崎 一 朗 研 究 業 績

論 文

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1972	半無限媒質中の断層によって生じる地震波(その1)	地震2, 25, 207-217.	鈴木保典・佐藤良輔
1972	半無限媒質中の断層によって生じる地震波(その2)	地震2, 25, 333-342.	鈴木保典・佐藤良輔
1973	Seismic waves due to a shear fault in a semi-infinite medium. Part I: Point source	Journal of Physics of the Earth, 21, 251-284.	Y. Suzuki and R. Sato
1974	Rise time and effective stress estimation from comparison of near-field data with theoretical seismograms in a semi-infinite medium, the Sanriku earthquake of March 3, 1933	Journal of Physics of the Earth, 22, 223-236.	Y. Suzuki
1974	モホ不連続面で反射・屈折された地震波	地震2, 27, 372-376.	
1975	Seismic waves due to a shear fault in a semi-infinite medium. Part II: Moving source	Journal of Physics of the Earth, 23, 43-61.	Y. Suzuki and R. Sato
1975	On the dynamical process of the Parkfield earthquake of June 28, 1966	Journal of Physics of the Earth, 23, 127-144.	
1975	The focal process of the Kita-Mino earthquake of August 19, 1961, and its relationship to a quaternary fault, the Hatogayu-Koike fault	Journal of Physics of the Earth, 23, 227-250.	
1978	The near-field Love waves by the exact ray method	Journal of Physics of the Earth, 26, 211-237.	
1980	Earthquake mechanisms associated with the conjunction of the sinking plates beneath the Kanto district, central Japan	Bulletin of Earthquake Research Institute, 55, 577-600.	Maki, T., A. Horie
1981	Radiation patterns of body waves due to the seismic dislocation occurring in an anisotropic source medium	Bulletin of Seismological Society of America, 71, 37-50.	T. Tanimoto
	A method for the near-source anisotropy by the pair-event inversion of Rayleigh-wave radiation patterns	Geophysical Journal of Royal Astronomical Society, 71, 395-424.	
1983	茨城県南西部鬼怒川側におけるフィリピン海プレートとユーラシアプレートのサイスミックカップリング	地震2, 36, 531-539.	竹本浩
1983	北陸地方における地震の発生様式	月刊地球, 5, 377-383.	竹本浩
1984	Why is seismic activity low in Antarctica?	Antarctic Record, No.83, 29-36.	Tani, M.

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1984	Azimuthal anisotropy of surface waves and the possible type of the seismic anisotropy due to the preferred orientation of olivine in the uppermost mantle beneath the Pacific ocean	Journal of Physics of the Earth, 32, 229-244.	F. Kon'no
1985	日本海に発生する浅発小地震の発生機構	地震2, 38, 541-558.	山崎謙・田村尚志
	Mode of seismic moment release at transform faults	Tectonophysics, 118, 313-327.	Y. Kawahara, I. Takata and N. Kosugi
1986	Azimuthally anisotropic model of the oceanic upper mantle	Physics of the Earth and Planetary Interiors, 43, 1-21.	
1987	南関東におけるプレート間サイスミックカップリングと仮想東京直下型地震	地震2, 40, 7-18, 1987.	松田恵子
1988	地震波速度異方性からみた海洋プレートと低速度層	火山, 33, 185-201.	
1988	An anisotropic image of the oceanic upper mantle, in the proceeding of the International Workshop of Anisotropy and Inhomogeneity of Lithosphere and Asthenosphere	Physics of the Earth and Planetary Interiors, 51, 128-129.	
1989	3D particle motion trajectories: Direct observation of Love-Rayleigh coupling	Geophys. Res. Lett., 16, 1051-1054.	Tajima, F.
1989	Seismic anisotropy in the Earth, in The Encyclopedia of Solid Earth Geophysics, ed. D. E. James	Van Nostrand Reinhold, Penn., 994-1005.	
1989	上部マントル低速度構造の地域性とその成因	地震2, 42, 239-254.	唐戸俊一郎・大内徹
1990	跡津川一牛首断層系と長波長地形	京都大学防災研究所年報, 33, B-1, 1-10.	松原勇・川畑新一・和田博夫・三雲健
1990	Analytic waveforms for a line source in a transversely isotropic medium	Journal of Geophysical Research, 95, B6, 11,333-11,344, 1990.	Sakai, Y.
1990	Rayleigh-Love wave coupling in an azimuthally anisotropic medium	Journal of Physics of the Earth, 38, 361-390, 1990.	K. Koketsu
1991	レイリー波分散から推定される西太平洋上部マントルの密度構造	地震2, 44, 53-57.	吉田満
1991	日本列島近辺のサイレントアースクエイク検出の試み	地震2, 44, 75-83.	大嶋主悦・三上直也・堀貞喜
1992	日本列島近辺のプレート間カップリングとサイレントアースクエイクの可能性-プレート沈み込みの半即時的モニターに向けて-	月刊地球, 号外4, 106-116.	
1993	人工地震による中部日本北部の地殻構造調査 富山-上宝測線	京都大学防災研究所年報, 36, B-1, 325-338.	伊藤潔・古本宗充・磯部英雄・和田博夫・西祐司・永井直昭

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1994	地球回転とスロー・アースクエイク	月刊地球, 16, 21-25.	
1994	1992年7月18日三陸沖地震は超スロー・アースクエイクか	月刊地球, 16, 123-128.	浅井康広・田村良明・鷺谷威・岡田義充・坂田正治
1995	The 1992 Sanriku-Oki, Japan, Ultra-slow earthquake	Journal of Physics of the Earth, 43, 105-116.	Y. Asai, Y. Tamura, T. Sagiya, N. Mikami, Y. Okada, M. Sakata and M. Kasahara
1995	地球の構造とダイナミクス(その1)	地震2, 47, 403-404.	佐藤博樹・本多丁
1995	Spatio-temporal moment-tensor inversion for multiple shocks: an application to the deep 1972 Banda Sea earthquake	Physics of the Earth and Planetary Interiors, 91, 229-244.	Hirata, K.
1997	三陸沖におけるプレート間モーメント解放の時空間分布とサイスモ・ジオデティック・カップリングー 中長期予測の基礎ー	地震2, 293-307.	浅井康広・田村良明
1999	D ^g 層サイレント・アースクエイクの可能性	月刊地球, 242, 8, 511-515.	布野健太郎・今西祐一・舟崎淳・上垣内修
2000	A low V zone beneath the Hida mountains derived from a dense array observation and tomographic method	Earth Planet and Space, 52, 143-154.	Matsubara, M., N.Hirata, S.Sakai
2000	飛騨山脈中心部の微小地震活動	地震2, 53, 11-23.	岩岡圭美・平田直・平松良浩・渡辺了
2000	1989年12月東京湾サイレント・アースクエイクの可能性	地震2, 53, 95-99.	広瀬一聖・岡田義光・鷺谷威・田村良明
2001	Space-time distribution of interplate moment release including slow earthquakes and the seismo-geodetic coupling in the Sanriku-oki region along the Japan trench	Tectonophysics, 330, 267-283.	Y. Asai and Y. Tamura
2001	中部地方におけるGPS変位速度場の深部定常すべり断層によるモデル化と飛騨山脈の多重応力場	地震研究所彙報, 75, 135-143.	中川靖浩・石崎泰男
2001	地震発生時期の予測-モデルと東海地震への適用の試み	月刊地球, 号外33, 149-160.	岡田義光
2003	Helium isotopic ratios and geochemistry of volcanic fluid from the Norikura volcanic chain, central Japan: implications for crustal structures and seismicity	Society of Economic Geologists special publications 10, 75-89.	Kusakabe, M., M. Ohwada, H. Satake, K. Nagao
2003	歪記録に見られた地震活動に先行した潮汐定数の時間変化	測地学会誌, 49, 227-242.	廣瀬一聖・竹本修三・田村良明
2003	スロー・スリップ・イベントの地学的意義	月刊地球, 25, 75-79.	
2003	自由振動を用いたD ^g 層サイレント地震の検出の試み	月刊地球, 25, 541-547.	
2003	スロー・スリップ・イベントのすべり域と地震アスペリティの空間的棲み分け	月刊地球, 25, 795-802.	

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2004	Silent earthquakes occurring in a stable-unstable transition zone and implications for earthquake prediction	Earth Planet and Space, 56, 813-821.	
2004	A 100 m laser strainmeter system installed in a 1 km deep tunnel at Kamioka, Gifu, Japan	Journal of Geodynamics, 38, 477-488.	Takemoto, S, A. Araya, J. Akamatsu, W. Morii, H. Momose, M. Ohashi, T. Higashi, Y. Fukuda, S. Miyoki, T. Uchiyama, D. Tatsumi, H. Hanada, I. Naito, S. Telada, N. Ichikawa, K. Onoue, and Y. Wada
2006	An improved double-difference earthquake location algorithm using sP Phases: application to the foreshock and aftershock sequences of the 2004 earthquake offshore of the kii peninsula, Japan (Mw 7.5)	Earth, Planets and Space, 58, 823-830.	Bai, B., Zhang, T. and Ishikawa, Y.
2006	The effect of distribution of stations upon location error: Statistical tests based on the double-difference earthquake location algorithm and the bootstrap method,	Earth, Planets and Space, 58: e9-e12	Bai, L., Wu, F., Zhang, T.
2006	伸縮計記録を用いたスリヒター・モード検出の試み	月刊地球, 28, 623-631.	小巻あずみ・森井互・小久保一哉・大久保慎人・坪川恒也・今西祐一
2007	The 2004 earthquakes offshore of the Kii peninsula, Japan: Hypocentral relocation, source process and tectonic implication	Physics of Earth and Planetary Interiors, 165, 47-55.	Bai, L., E. A. Bergman, E. R. Engdahl
2007	地球物理学サイドから見た地殻変動連続観測の存在意義	測地学会誌, 53, 369-377.	

総 説

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1976	地震発生機構(震源モデル)について	気象, No. 226, 21-27.	
1978	地震とは何かー富山県における地震防災のためにー	富山県地震対策基礎調査報告書, 富山県, 2-38.	
1986	プレートテクトニクス説から見た南極	南極の科学5, 地学, 国立極地研究所編, 310-318.	
1989	40周年記念シンポジウムをふりかえって	月刊地球, 11, 1 (no. 115), 3-6, 1989.	河野芳輝・西上欽也・平野憲雄・竹内文朗・渡辺邦彦
1989	北陸・飛騨地方の地震の発生機構	月刊地球, 11, 63-75.	
1991	アセノスフェア	月刊地球, 13, 387-388.	安藤雅孝
1991	海と大陸のアセノスフェア	月刊地球, 13, 388-396.	
1991	飛騨山脈はなぜ高いのだろうか?	富山の自然と文化, 富山大学, 37-48.	
1991	国際地球物理金沢会議(1990WPGM)報告	地震工学振興会ニュース, 116, 5-6.	
1992	地震学から見た中央海嶺	月刊海洋, 24, 581-587.	
1992	「地震」	10万分の1富山県地質図説明書, 124-143.	
1995	地震発生仕組みと活断層, 金沢大学公開講座・7 阪神大震災:地震と地震防災を考える	金沢大学・大学教育開放センター, 27-38.	
1995	「サイレント・アースクエイク」が目覚めるとき	最新地震論, 学習研究社, 66-73.	
1995	地震学から見た富山の地震の可能性	とやまと自然, 18, 2-6.	
1996	飛騨山脈周辺の地殻構造と深部プロセス	月刊地球, 18, 69-71.	渡辺了
1996	立山はなぜ高いのだろうか? 郷土の文化	富山県郷土史会, 21, 8-14.	
1997	北アルプスの地震と火山, 日本火山学会公開講座「信州の火山と地震」	日本火山学会, 1-4.	
1997	新たな観測網への提言ーもっと同時代の地球ダイナミクスを!ー	月刊地球, 221, 19, 56-60.	
1997	地域の実情に応じた地震・火山防災研究, 平成9年度東海・北陸地区大学放送公開講座ラジオ講座 検証:災害とはなにか, 後藤俊夫編	リバティ書房, 87-103.	

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1998	サイスモ・ジオデティック・バンドの地球ダイナミクス —序説	月刊地球, 223, 3-7.	
1999	サイレント・アースクェイク, スロー・アースクェイク	日本地震学会ニューズレ ター, 11, 18-22.	
2001	南関東におけるサイレント地震と地震予知への意義	月刊地球, 号外34, 113-118.	
2002	スロー地震とサイレント地震	AREA Mook 地震がわかる, 64-66.	
2002	サイレント地震 大地震の前に繰り返して起こる	Science and Technology Journal, 11, 14-15.	
2003	神岡鉦山における100メートルレーザー伸縮計につ いて	京都大学防災研究所年報, 46, B, 749-755.	竹本修三・新谷昌人・赤 松純平・森井互・東敏 博・福田洋一・尾上謙 介・市川信夫・大橋正 健・寺田聡一・百瀬秀夫
2003	「まるごと中部日本」—序文—	月刊地球, 294, 895-897.	河野芳輝
2004	サイレント地震	月刊言語, Vol.33, No.12, 2- 3.	
2005	特集:Lambの問題100年の歩み	地震, 57, 315-316.	
2005	南海・東南海地震の予知研究の新たな地平をめざ す	京都大学防災研究所公開講 座(第16回)防災研究最前 線, 15-24.	
2005	SPring-8 による地震記録を用いた地球コアの運動の 追求	光科学研究の最前線, 「光科 学研究の最前線」編集委員 会, 158-159.	松井佐久夫・伊達伸
2006	ゆっくり震とは?	パリティ, 21, 60-62.	
2007	地震予知の科学 予測の科学の知の技法でありうる か?	UP, 京大学出版会, 東京, 28-34.	
2006	特集:測地・地殻変動に関する研究集会(第1部)ま えがき	52, 4, 211.	加藤照之・田部井隆雄・ 古屋正人

著 書

発表年	著書名	発表誌名	共著者
1993	サイレント・アースクエイク	東大出版会	島村英紀・浅田敏
2006	スロー地震とは何か	NHKブックス、日本放送出版会	
2007	地震予知の科学	東大出版会	日本地震学会地震予知検討委員会編
2009	災害社会	京都大学出版会	